

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年(2019年)2月12日
上田地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	5	課題区分	C		
実施機関	上田地域振興局		担当課	所属	企画振興課
事業名	上田地域移住・交流促進事業			電話	0268-25-7112
				E-mail	uedachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	若者や子育て世代にターゲットを絞り、ニーズや上田地域の強みを分析し、ターゲットに向けた情報発信をすすめ上田地域への移住・交流を促進する。			
	現状と課題	高速道路、新幹線等の高速交通網の整備により特に首都圏とのアクセスがよい地域である。また、人口動態において35歳～39歳の転入が最も多く、子育て世代の転入者の割合が高いと推測される。多様な人材を地域に呼び込むため、魅力ある住環境の整備と情報の発信による効果的な移住施策の実施が必要である。			
	内容 (変更後の内容)	①移住イベントの開催 管内市町村と共催の移住体験ツアーや首都圏での移住セミナーを開催する。上田地域の移住者にも協力してもらい、移住経験談の発表や移住希望者の相談にのってもらう。 ②移住施策の研究 イベントや相談会を通じ移住希望者へのアンケートを実施し、現状分析を行うとともに、地域が求めるターゲットの移住に向けどのような情報をどのように発信していくか研究する。			
	事業期間	平成30年7月		～	平成31年1月
成果目標 (成果指標)	特に首都圏をターゲットに自然や住環境をアピールポイントにした移住促進施策に取り組み、移住者の増加を図る。				
事業費	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	上田広域移住イベントの開催	市町村共催イベントを開催する	133,062	職員旅費、イベント広告、保険料、施設利用料等	
	移住施策の研究	アンケートを実施・分析し、移住施策について研究する。	721	アンケート用紙、コピー代	
	合計		133,783		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	<ul style="list-style-type: none"> 管内市町村にヒアリングを実施し、各市町村における移住施策の現状及び課題を把握。 楽園信州・移住推進室が開催する首都圏移住イベント及び都内の移住情報発信拠点を視察。 10月27、28日に1泊2日で管内4市町村を回る移住体験ツアーを市町村と局で共催。10組の応募があり、抽選の上5組が参加。実際の生活がイメージできるようスーパーや病院など日常生活で利用する施設を中心に行程を組むとともに、ターゲットとする子育て世代に向け、助産施設や保育・教育関連施設の見学も盛り込んだ。 12月15日に首都圏在住の移住希望者を対象に、銀座NAGANOで移住イベントを開催。若者や子育て世代が移住を考える際に重視する仕事をテーマとし、民間企業就職や就農、地域おこし協力隊など幅広い職業を紹介し、職業別に想定される上田地域での暮らしをパッケージでプレゼンした。市町村による相談に加え、ハローワークや民間職業紹介業者にも参加してもらい、仕事に関する個別相談も受け付けた。予約枠20名が満員となり、当日参加の1名を含め21名が参加。 体験ツアー及び移住イベントでアンケート調査を実施し、移住希望者が地方暮らしで魅力を感じることや行政に求める情報・支援を把握した。 地方暮らしの実情を把握し納得したうえで移住をしてもらうことで定住につながるよう、体験ツアーやイベントを通じ、上田地域の魅力だけでなく、冬の寒さの厳しさや移動に車が必要となるなど移住希望者にとってネガティブな情報も伝え、納得した上で移住を考えてもらうよう情報提供に取り組んだ。 		<ul style="list-style-type: none"> 市町村のヒアリングでは上田市以外の市町村の知名度の低さが課題として挙げられた。体験ツアーでは各市町村の魅力に気づいてもらえるよう管内市町村を2日でまわる行程を組んだ。アンケート調査では参加者の満足度も高く、各市町村の魅力を感じてもらうことができた。また、上田地域がコンパクトにまとまっていることを体感することで移住希望先を上田市だけでなく近隣市町村まで広げてもらうことができた。 移住イベントでは楽園信州HPや市町村HP等への掲載により申込が予想を上回り、予約枠が募集期間中に満員となった。参加者の移住予定時期は様々だったが、それぞれ移住に向け、仕事や住居についてどのようなステップで準備を進めていけばよいか確認してもらうことができた。上田市以外の市町村の魅力も知ってもらうことができたが、ツアーほどの効果は見込めなかった。 広域で連携して取り組むことで町村単独では開催が難しい体験ツアーやイベントが実現可能となり、より多くの移住希望者に上田地域の魅力を伝えることができた。 ツアー参加家族1組が管内市町村へ移住することとなった。 アンケートでは移住希望者がどのように情報収集し、行政にどのような情報提供や支援を希望しているか把握することができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査では上田地域への移住希望者の多くが楽園信州HPや市町村HPで情報収集していることが把握できたので、移住希望者が求める情報の発信を市町村へ呼びかける。 引き続き、首都圏でイベントを開催し、より多くの移住希望者に上田地域を知ってもらう機会を創出するとともに、他の自治体の取組も参考にしながら、移住希望者のニーズに応えられるイベント内容を市町村と研究する。 体験ツアーについても継続的な開催が可能となるよう参加者と運営者の費用負担について研究する。 アンケート調査を継続実施することで標本数を増やし、今後の移住施策に活用する。 				